

令和5年度魚沼市立湯之谷中学校 学校経営の方針

1 教育目標

正しい判断に立って、全力を尽くしてやり抜く生徒

「正しい判断に立って」とは、善悪を適切に判断できる「知」と温かい「情」であり、「全力を尽くしてやり抜く」とは、「意欲」や、挑戦・貫徹の「意志」である。「知・情・意」の、バランスのとれた人間性をそなえた生徒の育成を目指す。

2 目指す生徒像

教育目標を受け、「知・情・意」それぞれに対応して、下記1)～3)を目指す生徒像とする。

- 1) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える生徒
- 2) 相手の立場に立って考え、思いやりと協力を大切にする生徒
- 3) 主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決するために努力し続ける生徒

3 学校経営の基本方針

日本国憲法および教育関係法規に則り、県の学校教育の重点、魚沼市のまちづくり基本理念及び魚沼市学校教育の基本方針等をふまえて、教育目標の具現を目指す。また、これまでの当校の教育実践の成果の上に立った取組を教育活動の中核において学校経営を行う。

- (1) 地域・家庭の期待に応える教育の推進
 - ・確かな学力と望ましい生活習慣の形成
 - ・地域、家庭との連携、幼保小中連携、関係専門機関連携等、相互理解と信頼の構築
- (2) 心の触れ合いを大切にした教育の推進
 - ・充実した学年・学級経営を基盤に、思いやりと協力を中核とした温かい学校・学級づくり
 - ・学校行事、生徒会活動、部活動などを機会とした共感・感動のある学校生活づくり
- (3) 社会人として身につけるべきことを身につけさせる教育の推進
 - ・「あじみ（こき）：あいさつ、時間、身だしなみ（言葉遣い、聞く態度）」の取組
 - ・授業規律、学習マナー、学習習慣の確立と、基礎学力の向上
- (4) 部活動を通じた自律心の育成
 - ・WEBQUを活用して、工夫しされた活動を実践しながら親和的な生活集団を育成する
- (5) 教育環境の整備に努め、実り豊かな「学びの場」づくりの推進
 - ・学習環境の整備・充実、生徒自らの手による愛校活動の推進
- (6) 教職員の学校運営への積極的な参画と、専門性の向上

4 現状と課題

- (1) 豊かな自然に恵まれた里山のよさを残した地域であり、温和で素朴な生徒が多い。一方で、自立性や主体性、積極性や創造性等の表現力の育成について一層の努力が必要である。

- (2) 学習マナーの確立、学習習慣の形成、基礎学力の定着等が不十分な生徒が見られる。生徒への称賛と寄り添いを大切にして、積極的に学ぶ意欲を高める必要がある。
- (3) 学校は地域住民の期待に支えられており、一層の信頼される学校づくりが求められる。学区に混在する新旧の住民の心情や家庭状況、産業構造の多様性等にも配慮が必要である。
- (4) 通常の学校生活に馴染めない生徒が、若干ながら存在する。また、日常生活でいじめに発展しかけない兆候、あるいは対人関係能力の不足によるトラブル等も時折見られる。また、特別な支援を要する生徒が少なくない。生徒に寄り添いながら悩みやトラブルを解決したり乗り越えたりする経験を積ませる。その上で、日常的な人間関係づくりのトレーニング、丁寧なみとりと、問題の早期発見、着実な対応が重要である。

5 目標達成の方策

- (1) 学習習慣の確立と、学ぶ意欲の醸成を軸とした学習指導の充実

目指す生徒 ～夢や目標を持ち、意欲的に学ぶ生徒～

- ① WEBQUを活用した授業改善、授業規律の確立、授業のUDL化
- ② 学び合う授業づくり（ファシリテーション、話し合い活動、グループ活動）
- ③ 基礎的な知識及び技能の確実な習得（NRT、学力テスト、にいがた学びチャレンジ等の活用）
- ④ 家庭学習の習慣化とメディア時間コントロール（SPT）
- ⑤ 主体的なキャリア形成（キャリアパスポートの活用、ようこそ先輩）

- (2) 基本的な生活習慣の確立と、豊かな心を育む道徳・生徒指導の充実

目指す生徒 ～自他を尊重し、思いやる生徒～

- ① 多様な意見を重ね合い高め合う話し合い活動（本校の『温かい学級づくり』の中核）
 - ・ルールとリレーシヨンの確立、役割のローテーション、年間計画に基づいた話し合い活動
- ② 「特別な教科 道徳」の授業の工夫（道徳性の発達を促す授業、集団討議、人権教育）
- ③ 特別活動の充実～自己肯定感・自尊感情の育成と社会性の獲得
 - ・週の振り返り（「湯友タイム」）、行事・生徒会活動、SST、アサーション
 - ・生徒が主体的に参画する学校行事、生徒会行事
 - ・日常からの生徒会活動の充実
- ④ 5つの教育期の積み上げ（生活目標、道徳授業、人権教育、情報モラル教育、他）
- ⑤ 関係機関との連携（子育て支援センター、児童相談所、SSW、SC、ゆのたにっ子支援クラブ）

- (3) 粘り強く目標に向かって努力し続ける気力と体力の育成

目指す生徒 ～鍛え、高め合う生徒～

- ① 健康教育の推進（心の教育、感染症予防、眠育、薬物乱用防止教室、性、各種講演会等）
- ② 体育的行事等の充実（体育祭、マラソン大会、スキー授業）
- ③ 健康で安全な生活に向けた生徒による啓発活動
- ④ 生徒の主体的な部活動運営（目標、話し合い、自律心育成の取組、練習の効率化）